

# 放射線測定器についてのアンケート調査報告

(社)福島県放射線技師会精度管理委員会

○斎藤由起 松井大樹 古川徹 鍵谷勝  
佐竹一博 星寿郎 栗田祐二  
池田昭文 古川義一 渡部育夫

## 【背景】

2011年3月の東日本大震災に伴い発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、緊急時被ばくスクリーニングや環境測定を余儀なくされた施設も少なくない。しかし当時多くの需要がありながらサーベイメータがなく、測定できない施設も多く存在し測定器不足という問題が露呈した。

精度管理委員会として各施設における放射線測定器についての保有並びに漏えい線量測定等における使用状況に関する実態調査を行った。

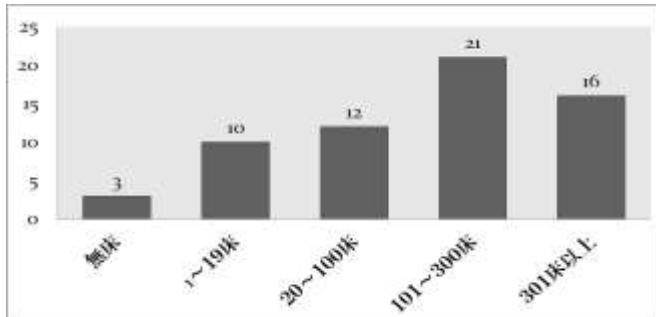
## 【調査方法及び調査時期】

- ・調査方法  
県内を4ブロックに分け、技師会員の所属している医療施設にアンケート用紙を配布し、データを収集
- ・調査時期 平成23年10月～12月

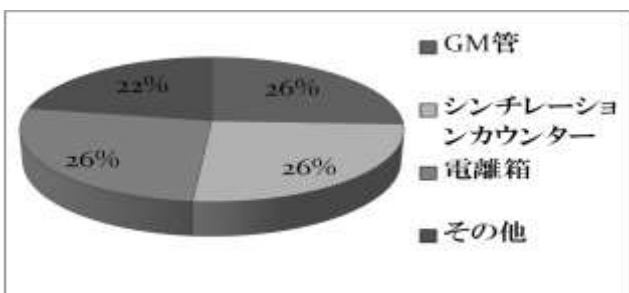
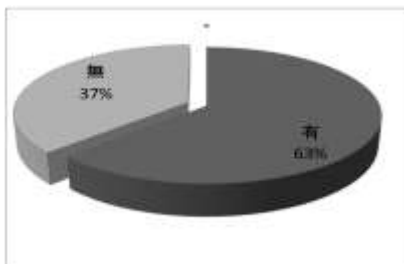
## 【結果】

対象施設90施設 62施設回答 アンケート回収率 69%

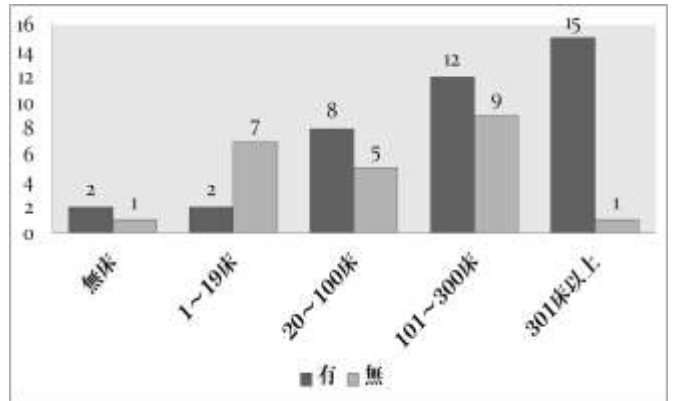
～病床別の回答病院割合～



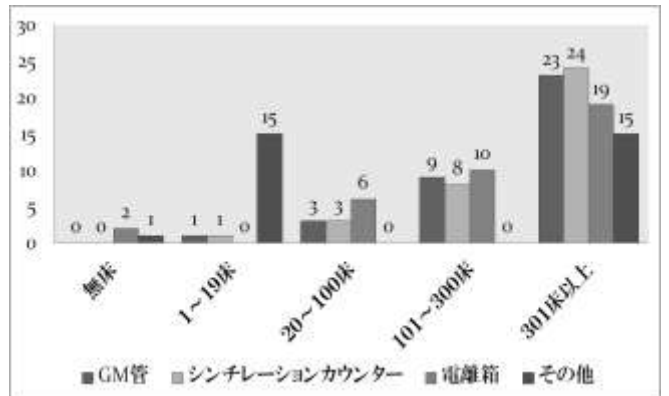
～サーベイメータの保有率～



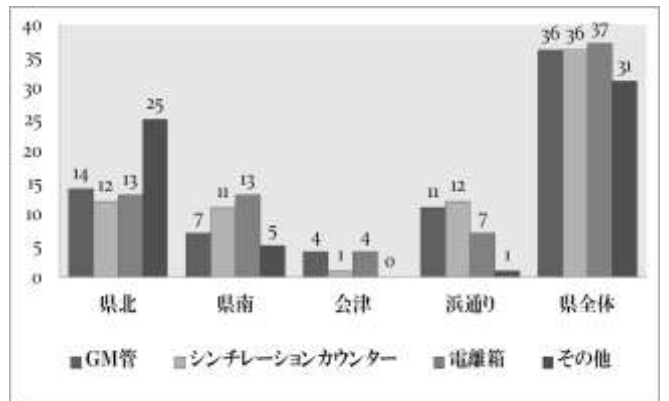
～病床別サーベイメータ保有割合～



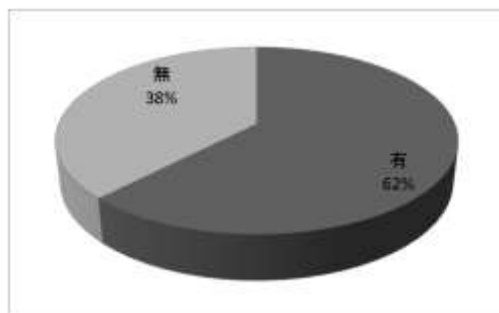
～病床別種類と台数～



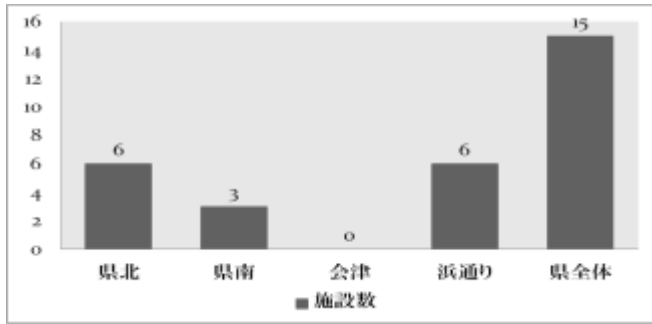
～支部別種類と台数～



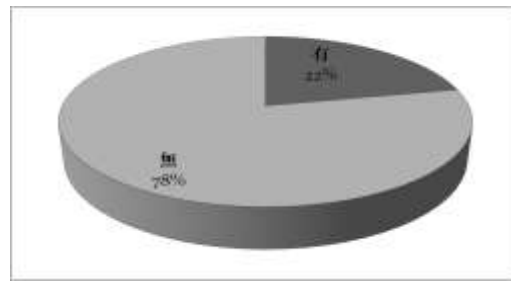
～操作マニュアルの有無～



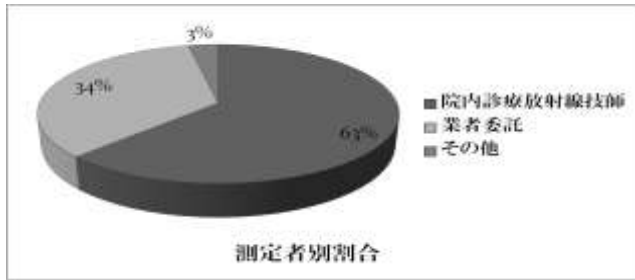
～震災後のサーベイメータ購入について～



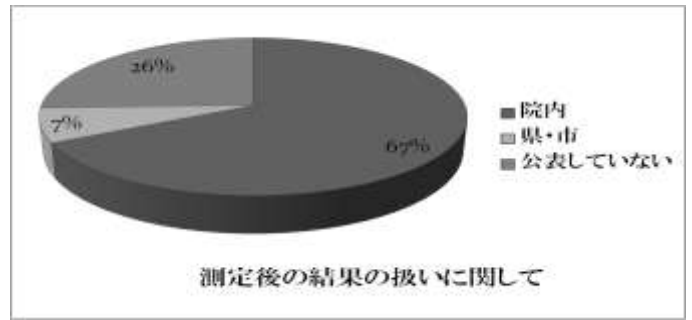
～環境測定用マニュアルの有無～



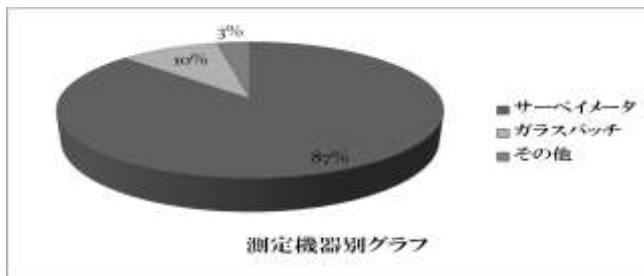
～漏えい線量の測定について～



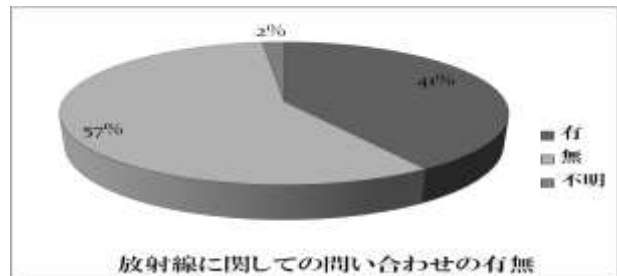
～環境測定結果の公表について～



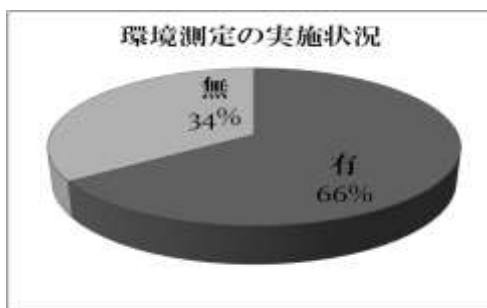
～漏えい線量測定機器～



～一般市民からの問い合わせについて～

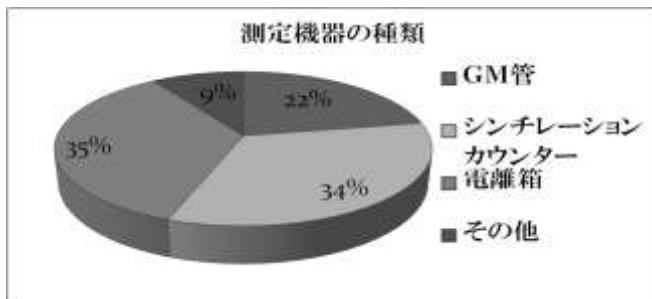


～原発事故後の環境測定について～

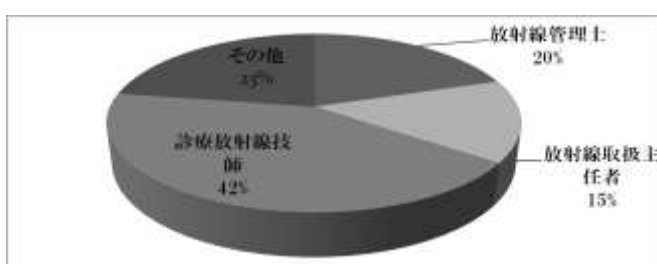


～問い合わせに対する対応について～

対応内容	施設数
診療放射線技師がその都度対応	18
医師、事務が対応	3
放射線技師が学習会を開催	1
地域住民に説明会、講演会を開催	4
災害ラジオにて情報発信	1



～環境測定者について～



【まとめ】

- ・ R I や治療を行っている施設以外でもサーベイメータを所持している施設が多い。
- ・ 震災時に各自で環境測定を行っていた状況が伺える。
- ・ 漏えい線量をサーベイメータにて診療放射線技師が測定している施設が多い。
- ・ ほとんどの施設で環境測定に対するマニュアルは確立していない。
- ・ 一般市民からの問い合わせに奮闘していた状況が垣間見える。

【今後の課題】

- ・ 大規模災害、放射線災害等における緊急時行動マニュアル及び連絡網作成
- ・ 県内同一水準の測定方法、適切測定レベル確保のためサーベイメータ操作に関する研修及び環境測定マニュアルの作成
- ・ 技師会保有のサーベイメータの有効利用